

豊能圏域における在宅医療において 必要な連携の拠点等の取組状況について

■連携の拠点の取組について

対象地域		豊中市
実施主体	連携の拠点	豊中市・豊中市医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	豊中市医師会・豊中市歯科医師会・豊中市薬剤師会・豊中市訪問看護ステーション連絡会

(1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<p>■連携の拠点、積極的役割を担う医療機関、「*豊中モデル」の在宅医グループリーダー等、との連携会議（10月9日開催済み）</p> <p>◇（介）医療・介護関係者間での多職種会議：虹ねっと連絡会（年3回開催予定）</p> <p>◇（介）在宅医療・介護連携支援センター運営事業（年2回開催予定）</p>	<p>■在宅療養支援診療所向けアンケート調査の実施（4月の研修会にて結果報告予定）</p> <p>■「豊中モデル」の多職種連携体制強化およびグループ間情報共有、受入に関するルールづくり（年2-3回開催予定）</p> <p>■非常用電源貸出に関するルールづくり</p> <p>◇（介）医療・介護・地域資源ナビの医療機関調査（11月実施予定）</p>	<p>■空床情報提供システムの運用・管理、参加医療機関数の増加などシステムの利用促進に向けた取組みの実施</p> <p>◇（介）病院・高齢者施設等の緊急時受入問題に対する課題検討（入退院・入退所支援WGで検討中）</p>	<p>■第23回green lab開催テーマ：（仮）「大阪府在宅医療サービス基盤整備推進事業」と「豊中モデル」の取組み、在宅療養支援診療所アンケート調査結果報告等（令和7年2月実施予定）</p> <p>◇（介）ACPスキルアップ研修会（11月開催予定）</p>	<p>■体験しながらACPを学ぶ！自分らしく人生を送るために（11月30日開催予定）</p>

(2) 進捗状況	<p>①豊中市が考える「在宅医療体制のイメージ図」を各医療機関や団体に提示し、検討・課題抽出の予定。</p> <p>②アンケート実施後集計し、2月の研修会で報告予定。</p> <p>③システムに参加いただく医療機関数の増加に年度を通して取り組む。緊急時における病院・高齢者施設間の情報共有が課題になっているため、有効な情報共有方法を検討中。</p> <p>④在宅医療の質向上やACPIに関連した研修を医療・介護関係者に実施する予定。</p> <p>⑤講演の演者と打ち合わせを実施。エンディングゲームを体験してもらおう。研修会の内容を検討中。</p>
----------	--

(3) 課題	<p>①「豊中モデル」の在宅医グループを新規に立ち上げることができるかが課題である。</p> <p>③病院と高齢者施設の緊急時に対する考え方に違いがある。緊急時に必要な情報を高齢者施設への負担のない方法で共有できるのか、高齢者施設にどのように周知できるのか、ACPの内容を周知できるのか等の課題がある。</p>
--------	---

*「豊中モデル」とは、在宅医療を担う医師の負担軽減や質の高い持続可能な医療体制を整備するために、在宅医療を担う医師をグループ化し、他科診療所の医師や多職種の医療従事者、病床を持つ医療機関で協力し支えるという体制です。

■連携の拠点の取組について

対象地域		吹田市
実施主体	連携の拠点	吹田市 (健康医療部 保健医療総務室)
	市町村医介連携事業 (委託先)	吹田市 (福祉部 高齢福祉室)

(1) 令和6年度の取組内容 (予定含む)			
① 会議の開催	② 地域の資源の把握・関係機関との調整	③ 急変時対応等の体制構築等	④ 在宅医療に係る研修 ⑤ 在宅医療の普及啓発
<p>① 地域医療推進懇談会 2回 (12月、2月頃)</p> <p>② 在宅医療に関する地域資源の把握</p> <p>③ 地域医療推進懇談会 2回 (12月、2月頃)、吹田市在宅医交流会 (仮題、1～2月頃)</p> <p>④ 人生会議における意思決定支援のため、私の思い記入シート (市作成) の活用引ききや活用方法等を伝えた研修の動画を、医療介護関係者向けにホームページ上で公開中</p> <p>⑤ 地域医療推進市民シンポジウム (10月)、かかりつけ医・人生会議の啓発、市民向け出前講座</p>			
(2) 進捗状況	<p>① 地域医療推進懇談会を開催し、在宅医療推進における課題の抽出等を行った上で具体的な対応等について議論している。今年度は、在宅医の連携のあり方等について検討予定。</p> <p>② 定例業務として、在宅医療に関する地域資源を抽出、把握している。</p> <p>③ 在宅医同士の連携体制構築の必要性から、吹田市医師会の協力を得て、医師会非会員の訪問診療医と医師会加入の訪問診療医との顔の見える連携づくりを目的とした在宅医交流会の開催に向け検討を進めている。</p> <p>④ 人生会議における意思決定支援の充実のため、令和7年度の研修実施に向け調整中。</p> <p>⑤ 地域医療推進市民シンポジウム：在宅医療をテーマに、在宅医による講演や、在宅医、訪問看護師、ケアマネ、在宅病、患者家族によるディスカッションを企画。定員200名、youtubeで後日配信予定。</p> <p>かかりつけ医・在宅療養・人生会議等の啓発：自治会等へのチラシの配布、人生会議の日等にSNSでの啓発、出前講座の実施。医療介護関係者が市民向け啓発を行えるよう、啓発媒体やプログラムを作成し、活用方法について研修会を実施 (令和4年度、令和5年度) それらのツールをホームページ上で公開。</p>		
(3) 課題	<p>① ③ グループ診療等の在宅医同士の連携のあり方や、病院医師や看護師と在宅医や訪問看護師等との切れ目ない連携、在宅医と在宅医療を支える病院 (在宅病や後方支援病院等) の連携促進などについて、具体的な議論の進め方が難しい。</p> <p>④ 市民が人生の最終段階において自身が望む最期を送ることができるよう、多職種連携を行いつながり、適切な意思決定支援を行える医療介護関係者の人材育成が必要となっている。</p>		

■ 連携の拠点の取組について

対象地域	箕面市
実施主体	連携の拠点 箕面市医師会
	市町村医介連携事業（委託先） 箕面市健康福祉部地域包括ケア室（箕面市医師会）

(1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

① 会議の開催	② 地域の資源の把握・関係機関との調整	③ 急変時対応等の体制構築等	④ 在宅医療に係る研修	⑤ 在宅医療の普及啓発
<p>① 在宅医療推進事業運営委員会において、在宅医療の状況把握、今年度の事業運営における課題検討（2ヶ月に1回） 参加者：医師会・歯科医師会・薬剤師会・市立病院・訪問看護ステーション連絡会・ケアマネ連絡会・包括・市・保健所</p> <p>② 地域資源の把握：箕面市認知症相談マップ・医療マップ、在宅医療ハンドブック別冊（在宅医療関係関連施設一覧）の発行 関係機関との連携：多職種連携研修会にて支援者向け講座の開催（年3回）</p> <p>③ 市内医療機関との連携会議（1月頃）、地域医療・福祉連絡会（3月頃）</p> <p>④ 多職種連携研修会にて支援者向け講座を開催（年3回）、在宅医療講演会（年1回）</p> <p>⑤ 市民公開講座を開催予定（年1回）、市民向けACP講座（年2回）、ACPハンドブック・ACPパンフレットの発行</p>				

(2) 進捗状況	<p>① 2ヶ月に1回運営委員会を開催し、地域や病院それぞれの担当者から現状報告し、困りごとを共有している。また、多職種連携研修会の議題内容を検討している。</p> <p>② 地域資源の把握については、各種資料を改訂し発行 関係機関との連携については、多職種連携研修会を2回開催済。 第1回：6/13 心腎血管疾患の予防のための基礎知識（73名参加） 第2回：9/11 在宅医療と栄養ケア（68名参加） 第3回：12月頃予定（内容未定）</p> <p>④ 多職種連携研修会については、②のとおり 在宅医療講演会は10/12開催予定</p> <p>⑤ 市民公開講座は令和7年3月に開催予定。 市民向けACP講座については、1回目開催済（6/26、参加者21名）、2回目は11/29開催予定</p>
(3) 課題	<p>③ 急変時対応等の体制構築等については、市内医療機関との連携会議の開催に向けて取組内容を現在検討中。 地域医療・福祉連絡会（市立病院主催）との連携についても検討中。</p>

■連携の拠点の取組について

対象地域	池田市 豊能町 能勢町
実施主体	連携の拠点 池田市医師会
	市町村医介連携事業（委託先） 池田市医師会

(1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
①在宅医療に関する説明会（5月）				
②在宅医療（在宅酸素療法や麻酔投与、ストーマの処理管理等）のアンケート調査を実施し、医療機関を地域別に検索できるサイトを医師会HPに掲載する。（3月）				
④「心肺停止傷病者に対する救急隊の活動について」の研修会（7月）				

(2) 進捗 状況	① 5月21日実施し、「池田市在宅医療・介護連携推進事業」及び本事業の概要、実施計画を説明。 医師28人の出席があった。
	② 5月にアンケート調査内容を確定し6月に池田市、委託業者と打ち合わせ、11月に調査実施予定。 ④ 7月16日実施し、心肺停止傷病者への救急隊の基本活動について消防が説明。医師30人、その他6人の出席があった。

(3) 課題	②アンケート調査結果を基に、在宅医療の現状を把握し、新たな在宅医療の課題を把握する。
--------	--

令和6年度池田市「在宅医療・介護連携推進事業」及び「在宅医療の連携の拠点」事業計画

	在宅医療・介護連携推進事業(市委託)	在宅医療の連携の拠点(府補助)
(ア)地域医療・介護の資源の把握(市直営)	市直営「いけだ医療・介護ナビ」 追加:在宅医療の実態、多職種連携方法について	イ:地域資源の把握・関係機関等との調整 ①在宅医療の実態調査のまとめ・評価(11月) ②医師会HP掲載又は冊子作成(3月)
(イ)医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	1.調整会議の開催 ①代表者・実務者合同会議(5月13日、3月) ②実務者会議 (9月12日) 2.関係機関事業説明会の開催(5月24日) ①事業説明 ②4つの場面の課題抽出のための調査の依頼	ア:会議の開催 3.在宅医療に関する説明会の開催(5月21日) ①事業説明会 ②在宅医療実態調査について 4.在宅医療拠点会議の開催 ①在宅訪問診療医師連絡会 ②施設医師連絡会
(ウ)切れ目のない医療・介護の提供体制の構築	4つの場面の課題抽出調査のまとめ・評価	
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	地域支援センター連絡会、訪問看護連絡会等での意見交換	
(オ)相談支援	随時	
(カ)医療・介護関係者の研修会	1.心肺停止傷病者に対する救急隊の活動について 池田市消防本部警防救急課(8月23日) 2.高次脳機能障害の症状と対応(10月25日) 脳神経専門医師 3.末期がん患者の緩和治療・ケアについて (12月17日) ～最新情報と在宅ケアとの連携について～ 市立池田病院 4.対応困難事例検討会(10月、12月、2月) ・10月21日 ・12月16日 ・2月17日	ウ:在宅医療にかかる研修等 ①「心肺停止傷病者に対する救急隊の活動について」～消防と医師のACP支援～ (7月16日) ②未定
(キ)地域住民への普及啓発	講演会(9月、11月、1月) ①講義:在宅看取りのための人生会議(ACP) 9月4日:家で死ぬってどういうこと 11月14日:老人介護施設における看取り 1月16日:訪問診療におけるがん患者の看取り ②もしバナゲーム(参加型体験ゲーム) ③エンディングノートの活用(ノート配布)	
(ク)市との連携	市、保健所、医師会担当者会議(4/16、8/2)	

■積極的医療機関の取組について 市立池田病院

実施主体	対象地域	池田市 豊能町 能勢町
	連携の拠点	池田市医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	池田市医師会

(1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

他医療機関等への調整・支援等

4 災害時等にも適切な医療を提供するための計画（人工呼吸器等の医療機器を使用している患者の搬送等に係る計画を含む。）を策定し、他の医療機関等の支援を行うこと。

①災害時在宅呼吸器装着者の局所的停電に伴う充電確保の支援体制の整備（休日時間外含む）

- ・補助事業活用で購入予定の非常用電源の貸出し運用の検討。

②災害時、当院かかりつけの在宅呼吸器装着患者で、当院の受け入れ条件を満たしていればレスパイト入院の受け入れをする。

その他

- ・積極的医療機関を含む在宅医療に必要な連携を担う拠点との情報共有・意見交換。（8月、9月）
- ・当院より在宅退院後の急変時の入院受け入れと対応困難時には翌平日の転院受け入れの取組。

(2) 進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養している当院かかりつけ患者の救急受け入れが困難で一旦他院に入院した場合、極力転院を受け入れるようにしている。 ・局所的停電に伴う電源確保については、今後、保健所を通じ対象の難病呼吸器装着者へ周知の予定。 ・電源確保の運用を徹底するために、運用フローは、現場の意見を取り入れ見やすいものに修正し定期的に確認している。又、院内で部門を管轄する管理職を巻き込み、あえて会議に参加してもらえよう働きかけた。 会議名：災害時の避難入院・災害時電源確保について 保健所と情報共有。（2024年9月18日開催）
----------	--

(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業活用で購入した非常用電源の貸出しの運用についての検討。 ・毎年行われる防災訓練に、災害時の支援体制についても定期的に周知するしくみ作り。 ・小児及びAYA世代（小児科から成人に移行）のレスパイト入院について、医師のマンパワー不足や受診歴がないなどの問題がある。
--------	---